

市町村
紹介コーナー

弥彦村

[下越エリア]

弥彦公園は、4万坪もの敷地に、
滝や溪流、高台、トンネルなどが配置され、桜、ツツジが
四季折々に美しい花を見せます。
特に「もみじ谷」は、弥彦が誇る紅葉の名所となっており、
秋には朱色に塗られた観月橋と紅葉が織りなす景色が
訪れる人の心を和ませてくれます。夜は紅葉がライトアップされ、
幻想的な世界に変わります。

NIIGATA CONSTRUCTION TECHNOLOGY CENTER

新潟県 建設技術 センターだより

2026 秋号 Autumn

CONTENTS

■特集

02 市町村紹介コーナー 弥彦村

04 発注者支援事業紹介

■センターINDEX

05 ものづくり体験学習教室

～「つくる楽しさ」から、土木の魅力を伝える～
研究助成事業のご紹介

06 試験部からのお知らせ

07 雪のことば・雪のころ

08 新潟の道の駅巡り 道の駅 庭園の郷 保内
編集後記



一般財団法人

新潟県建設技術センター

<https://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18 TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854



弥彦村

Yahiko

弥彦村のプロフィール

面積／25.17km²

人口／7,319人(令和8年8月末現在)

世帯数／2,831世帯(同上)

<https://www.vill.yahiko.niigata.jp/>



弥彦村は、新潟県のほぼ中央部の日本海側に位置し、西は霊峰弥彦山(634m)を隔てて新潟市・長岡市と隣接し、東南は燕市、北は新潟市に囲まれた小さな村です。越後一宮「彌彦神社」を中心に、越後文化発祥の地として古くから人々が行き交い、にぎわいのあるまちとして栄えてきました。



弥彦村の特産品 「伊彌彦米」

伊彌彦米(いやひこまい)は、農薬・化学肥料を通常の半以下に抑えて生産し、新潟県特別栽培農産物の認定を受けている特別栽培米コシヒカリです。今年で誕生10周年を迎え、ANA国際線ビジネスクラスの機内食にも採用された実績があります。



伝統と文化から革新へ

弥彦村が進める リノベーションまちづくり

地域資源を活かした門前町・弥彦の活性化

弥彦村は、県内有数の観光地として、彌彦神社を中心に多くの観光客が訪れる村です。その一方で、一步踏み入った弥彦駅周辺では、飲食店や小売店、ホテルの廃業等により空き家等が増加。門前町・弥彦全体としての活性化が課題となっています。

村では、彌彦神社周辺に集まるにぎわいを活かして弥彦駅側への周遊性を高め、「歩いて楽しい街」の実現に向けてハード・ソフト両面から門前町・弥彦の活性化を目指していきます。

令和8年6月には、村内で活躍する観光・商業・宿泊業などの関係者で構成する「第1回門前町・弥彦まちづくり検討委員会」を開催。今後も継続して開催し、最終的には「まちづくり方針」として取りまとめます。

また、門前町周辺に点在する空き家等を地域の課題とするのではなく、新しい事業と交流を生み出す資源として捉え、地域で挑戦する民間プレイヤーとも連携。宿泊、飲食、農産物加工、交流などの小さな事業を一つずつ進めていきます。



彌彦神社 一の鳥居前

点から線へ、線から面へ。



門前町・弥彦まちづくり検討委員会

地域でつくる

村内で、それぞれの立場で活躍している皆さんからのご意見等をいただきながら、まちづくりを進めていきます。



遊休資産の活用

民間プレイヤーとつくる

遊休不動産等を民間プレイヤーと連携して活用することで、地域に雇用と新しい価値を生み出します。



2026年周辺工事完成予定

観光資源を再編集する

大イチョウや小路、温泉等の観光資源を再編集し、彌彦神社から弥彦駅までを歩いて楽しめるエリアへ広げます。

弥彦の秋



弥彦競輪

弥彦競輪場は、日本で唯一の村営競輪場です。「第35回 寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメント」が10月9日(金)～12日(月・祝)に開催されます。寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメントは、競輪の最高峰グレード「GI」に位置づけられる、全国トップクラスの選手が集う特別競走です。まだ競輪を見たことのない方は、迫力ある生の競輪レースを観戦してみてもいかがでしょうか。

弥彦菊まつり

11月1日(日)～24日(火)

弥彦の秋の風物詩として長く愛される「弥彦菊まつり」は、彌彦神社の境内で開催され、出品者数・出品品目において全国随一の規模を誇る菊花大観覧会です。



発注者支援事業紹介



一級河川新通川広域連携(河川)大野橋架替 工事

工事概要

新通川は新潟県三条市を流れる一級河川です。河道が狭小であることから洪水被害が頻発しており、近年の水害実績を踏まえ、治水安全度の早期向上を目的とした河川改修が進められています。

本工事は、河川改修事業の一環として、橋梁下部工から上部工までを築造する工事です。

工事内容

工事名／ 令和7年度 広域連携 第0003-01-00-01号
一級河川新通川広域連携(河川)
大野橋架替 工事

工期／ 令和7年7月～令和8年10月

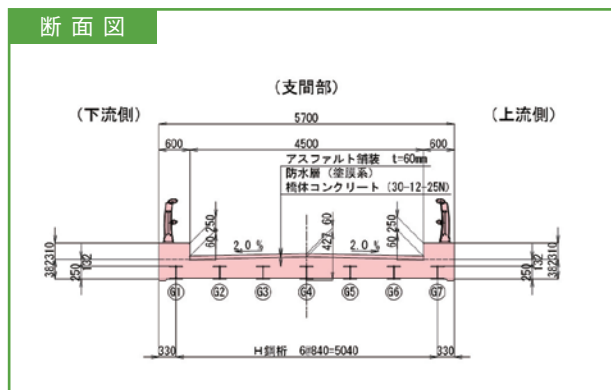
発注者／ 新潟県三条地域振興局 地域整備部

工事内容／ 杭打工:6本、橋台工:2基、上部工:1式
(複合門型ラーメン橋 L=11.2m)

位置図



断面図



立会状況



架設状況



完了



現場技術員 から一言

現場技術員 加藤 太一

本工事は、河川改修に伴う橋梁架替工事であり、下部工から上部工まで橋梁一式を築造する工事でした。重要構造物であることから、コンクリート打設時には、打設順序や締固め方法、養生方法等、構造物の品質および耐久性に大きく影響する施工管理項目に留意して立会を行いました。

今後も、現場条件や施工特性を十分に把握し、発注者支援業務を通じて、品質確保と円滑な工事の推進に寄与してまいります。

ものづくり 体験学習教室

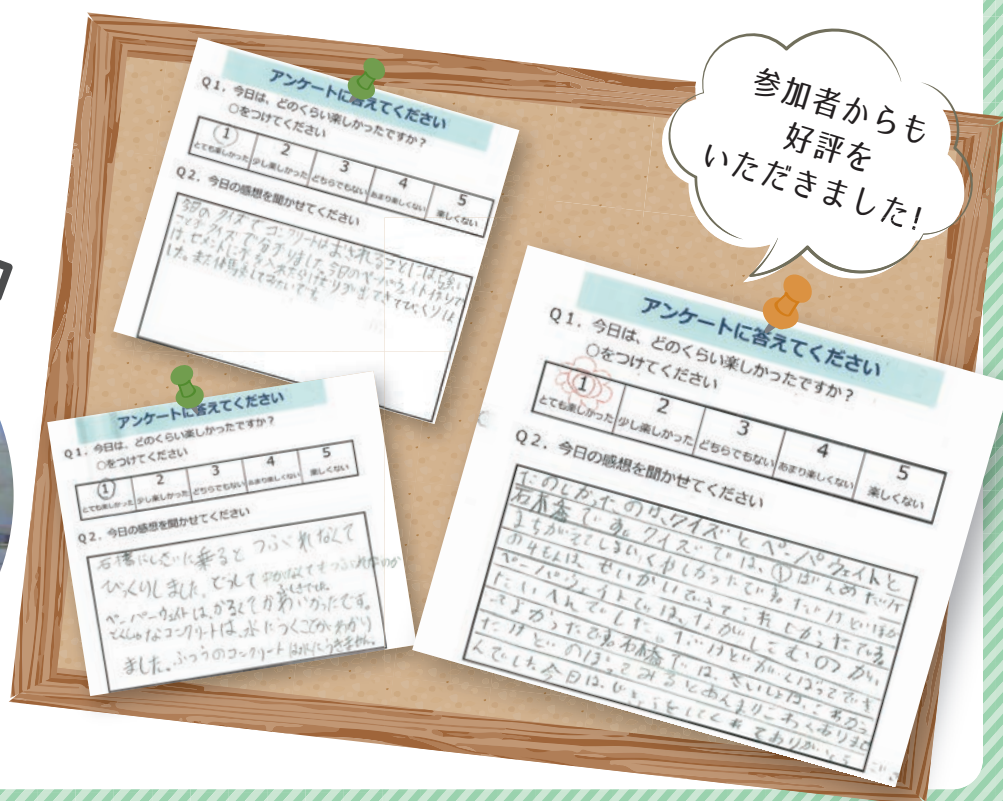
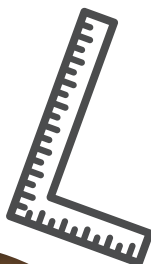
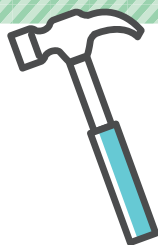
～「つくる楽しさ」から、土木の魅力伝える～

当センターでは、土木への理解と関心を深めてもらうため、地域の小学校で「ものづくり体験学習教室」を開催しています。これまでに13回実施しており、今年度は6月に新井南小学校で開催しました。

教室では、コンクリートに関するクイズに挑戦したり、コンクリート製のアーチ橋づくりやモルタルを使ったペーパーウエイトづくりを体験したりと、楽しみながら土木を学べるプログラムを実施しました。

実際に手を動かして作品をつくることで、ものづくりの楽しさやコンクリートへの理解を深め、土木をより身近に感じてもらえる貴重な機会となりました。

本教室にご興味をもたれた方は、企画調査部までお気軽にお問い合わせください。



研究助成 事業の ご紹介

当センターは「良質な社会資本を整えるため、土木施設及び建築物の品質を確保するとともに、建設技術者の資質向上を図り、もって地域の安全・安心と地域社会の健全な発展に寄与すること」を目的としており、この目的を達成するため、新潟県内で行われる社会資本整備・維持に関連する課題解決に資する調査研究、および地域の課題解決を目的とした社会資本に関する活動への助成をしています。

令和8年度は、16件の調査研究と活動を助成しています。

試験部からのお知らせ

令和8年度 コンクリート技術研究会が開催されました



令和8年7月22日にコンクリート技術研究会が開催されました。

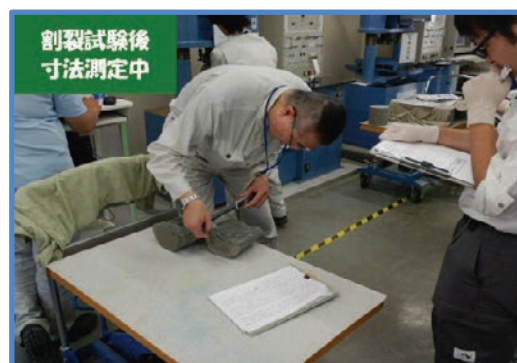
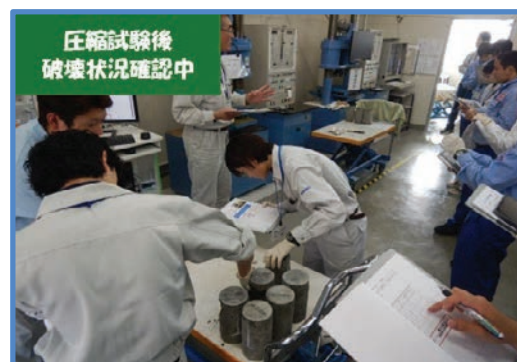
【参加機関のご紹介】

・国土交通省 北陸地方整備局 ・新潟県 ・東日本高速道路(株) 新潟支社 ・(一財)新潟県建設技術センター

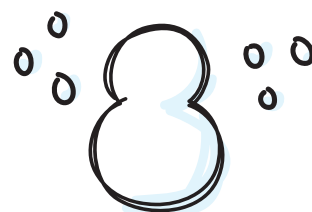
「コンクリート技術研究会」は、平成20年の発足以来、大学や関係機関との連携のもと、若手技術者に高度な専門技術を継承し、組織の中核を担う人材を育成することを目的に開催されています。

本研究会は年間7回のカリキュラムで構成されており、「コンクリート標準示方書」を軸に、配合設計から供試体の作製、材料試験に至る一連の技術を座学と実習を通じて習得する場となっています。

当センターは、発足当初から材料試験(コンクリートの圧縮・割裂、鋼材の引張等)のパートを担当し、実機を用いた試験を通じて、若手技術者の専門知識向上をサポートしています。



雪のことは・雪のころ



今年の大雪(その3)と雪の降り方

雪国総合研究機構設立準備室長 上石 勲

図1~3は今年の2月上旬の大雪のため、融雪装置では融け切らなかったり、機械除雪や排雪が追いつかず、多くの雪が道路に残り、道路通行に支障が出た状況で、道路の轍(わだち)は2本・3本しかなく、路線バスのすれ違いもままならない状況です。



図1 路線バスとのすれ違い困難(長岡市)



図2 機械除雪や路線排雪追いつかず(長岡市)



図3 消パイだけでは融け切らず(長岡市)

このような集中した大量の降雪による被害は、最近頻発しています。図4、5は新潟、長岡の気象庁アメダスの一冬の日降雪量の合計値と日降雪量の年最大値の経年変化を示したものです。

1995年以降の長岡は日降雪量の合計値は減少傾向にありますが、日降雪量の最大値はばらつきが大きく、少し増えているようにも見えます。この原因は気象変動によるものかどうかはわかりませんが、極端に集中的に雪が降る可能性は、今後もあると予想されます。

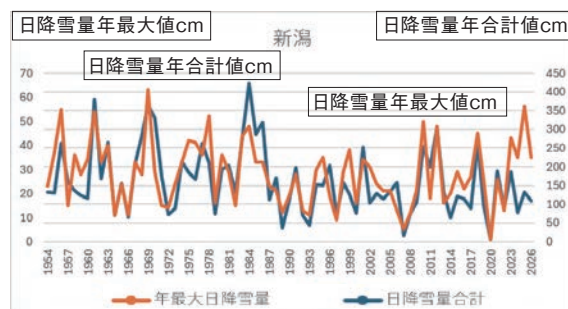


図4 日降雪量の年合計値と日降雪量の年最大値の経年変化(新潟)

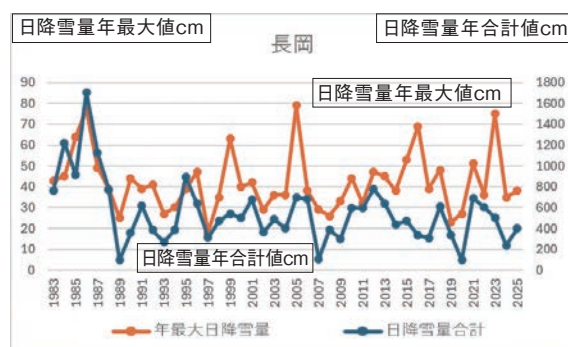


図5 日降雪量の年合計値と日降雪量の年最大値の経年変化(長岡)

今後は時間降雪量を分析するなど、解析を進め、今後の雪対応に活かしていければと思います。

新潟の道の駅巡り

vol.07

道の駅 庭園の郷 保内

三条市にある「道の駅 庭園の郷 保内(ほない)」は、造園・植木のまちとして発展した保内地区の魅力を届ける緑のテーマパークです。

約3万平方メートルにおよぶ広大な敷地には職人の技が光るモデル庭園や植木見本園が広がり、種類豊富な植木、花苗を販売。四季折々に花や紅葉を楽しめます。

直売所「庭園生活館」では鉢花や園芸用品をはじめ、地元産の新鮮な野菜や特産品が並びます。敷地内にはテラス席のあるイタリアンレストランやカフェも併設されています。

そして愛犬家にも嬉しいポイントが、施設内のほとんどがペット連れで利用できることです。緑豊かな屋外の庭園や広場はペットとのお散歩が可能で、庭園を臨むレストランは、テラス席と館内専用席で愛犬と一緒に食事やカフェタイムを楽しめます。

苔玉作りなどの体験教室も定期開催され、ドライブの休憩はもちろん、ペットとの素敵な休日をご過ごせる「滞在型の道の駅」として親しまれています。



こもれびカフェ

カレーやジェラート、季節ごとの限定メニューなどを味わえるカフェ。テラス席も人気。



パスタとピザの店 base (バーゼ)

庭園を臨むイタリアンレストラン。ペット同伴席のほか、和室も利用でき、家族揃って食事ができる。



植木見本園

もみじやオリーブ、アオダモなど様々な苗木が揃う。花々や紅葉も四季折々に美しい。



「道の駅 庭園の郷 保内(ほない)」は三条市保内地区にあり、この春で10年目を迎えました。緑あふれる敷地内には、地物野菜や土産物のほか、ガーデニンググッズや植木も扱う直売所、木々を眺められるカフェを併設。また、敷地内の別棟には、イタリアンレストランもあります。

道の駅 庭園の郷 保内

〒955-0021 新潟県三条市下保内4035番地
TEL.0256-38-7276 FAX.0256-38-7277



編集後記

猛暑も過ぎ去り、スポーツの秋・芸術の秋・読書の秋と皆様も充実した秋をお過ごしのことと存じます。

今回の「センターだより秋号」では弥彦村様からのご寄稿や「道の駅 庭園の郷 保内」様の特集を掲載させていただきました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

これからも「センターだより」を通じて、皆様に新たな発見やワクワクする情報をお届けできるよう努めてまいります。今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

編集委員 試験部 斉藤 理空